

| | | |
|---|---|----|
| 年 | 組 | 名前 |
|---|---|----|

授業にタブレット型多機能端末を活用している小学校で、公開授業と共同研究報告会がありました。



国語の授業で多機能端末を使って黙読する児童。27日午後、佐伯市の佐伯東小

「タブレット」 学びに活用

授業にタブレット型多機能端末を活用して学力向上効果を研究している県教委と佐伯市教委、東京大学、教育関連企業は27日、同市の佐伯東小学校（河野明宏校長、187人）で公開授業と共同研究報告会を開いた。

佐伯東小で 研究報告会

研究校は市内の佐伯東、西浦両小学校。2012年度から3年間、教育関連企業のエンジニアズ（東京）から無償貸与を受けた多機能

履歴から苦手分野把握 個別指導に効果

端末などICT（情報通信技術）機器を授業で使用。学力向上につながる有効な活用方法を産学官で研究する。

この日は2、3、4年の授業を公開。学校関係者ら約50人が見学した。3年生は国語の授業で端末の電子教科書を併用。読みを支援する文章の自動読み上げ機能を備えており、各自の理解力に応じて読み上げ速度も調整できる。児童は目と耳で内容の理解を深めて先生の質問に答えていた。

報告会で、端末の使用履歴などから苦手な学習分野が把握できることなどを説明。東京大学先端科学技術研究センターの中邑賢龍教授は「授業は一斉指導が基本だが、多機能端末を使って苦手分野を個別指導をするのが狙い。学習が遅れる子どもをなくすことにつながる」と話した。本年度以降は書き方や計算の学習にも活用して検証する。

(2013年6月29日朝刊14面)

①タブレット型多機能端末を利用する目的は何でしょう。

.....

.....

.....

.....

②この端末の機能を使い、どのような活用をしていますか。記事から読み取ろう。

.....

.....

.....

.....

③この端末で、どのような授業をしてみたいと思いますか。話し合ってみよう。

.....

.....

.....

.....